

# 令和5年度 学びの丘 上新田学園 学校評価書

項目	No.	評価指標	学校としての取組	保護者(小)	保護者(中)	教職員	平均	学校運営協議会	学校運営協議会委員の意見
学力向上	1	教職員は、分かりやすい授業を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力・学習状況調査の結果を分析すると、中学部3年生においては、全国及び県平均を大きく上回る結果が見られた。特に中学部に入学してからの成績が上昇傾向にある。みやざき小中学校学習状況調査においても、小・中学部ともに全国及び県平均を大きく上回る結果を残している。</li> <li>○ 小中一貫教育の強みを生かし、一人一人にきめ細やかな指導ができています。</li> </ul>	3.69	3.47	3.55	3.60	3.78	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中一貫の取組が学力向上にもつながっていると考えられる。一部教科担任制は、専門的な指導を行うことができ効果を上げているのではないかとと思う。</li> </ul>
	2	教職員は、一人一人の児童生徒の学力を伸ばすために、きめ細やかな指導を行っている。		3.51	3.42	3.62			
	3	学校は、小中一貫教育校のよさを生かして、一部教科担任制(中学部教員が小学部にて授業を行う)などの授業を工夫している。		3.64	3.69	3.85			
ICT活用	4	教職員は、ICT(パソコンやタブレット、大型テレビなど)を活用して授業を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT活用推進モデル校として実践を積み重ねてきたことにより、児童生徒のICTスキルのみならず、教員のICT活用指導力も高めることができた。また、外部機関等から講師を招聘し、専門性を身に付けることもできた。</li> <li>○ 「sigfy」の活用を通して、地域や保護者との連携を深め、校務のデジタル化を進めることができた。</li> </ul>	3.79	3.59	3.81	3.68	3.85	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTを活用した授業は、先進的であり、児童生徒のICTスキルを高めるだけでなく、教職員の活用指導力も高めることができたと思う。「sigfy」もさらに地域に広めて活用してほしい。</li> </ul>
	5	教職員は、児童生徒のICTスキル(技能)を向上させる指導をしている。		3.57	3.38	3.44			
	6	学校は、保護者連絡アプリ「sigfy」等を活用して、デジタル化を進めている。		3.89	3.85	3.85			
地域との連携協働	7	学校は、コミュニティ・スクールとして、学校の情報を保護者や地域の方々に提供している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茶摘みや梅ちぎり体験、湯の宮棒踊りなど、地域の方々の協力をいただきながら、地域に根ざした教育活動を展開することができた。</li> <li>○ 朝の読み聞かせや毛筆指導、登下校の見守りや環境整備なども地域の方々にご尽力いただいている。特に外部の人材や学校支援ボランティアの活用については、高い評価を得ている。</li> </ul>	3.66	3.69	3.62	3.76	3.94	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝の読み聞かせや毛筆指導茶摘みなど、子どもたちに対してすばらしい教育をされている。地域住民として、大変うれしい。自分たちにできることは、協力させていただきたいと思う。</li> </ul>
	8	学校は、地域の教育資源(棒踊り、茶摘みなど)や外部人材を活用して、教育活動を展開している。		3.85	3.76	3.85			
	9	学校は、学校支援ボランティア(登校見守りや読み聞かせなど)を活用して、教育活動を展開している。		3.85	3.73	3.85			
児童生徒理解	10	教職員は、児童生徒の個性を把握して、適切な評価や声掛けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒のよいところや気になることなどについては、職員間の連携を深め、密に連絡を取り合うよう心掛けた。今後も家庭との連携を深め、学校に対する信頼をさらに高めることができるようにしていきたい。</li> <li>○ 児童生徒会を中心に人権集会を開き、個々の人権意識を高めるよう努めた。また、外部講師を招き、自己理解や他者理解を深めることができるような授業も行った。</li> </ul>	3.45	3.38	3.48	3.41	3.56	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体的に見ると数値が低いですが、経年変化で見ると上がってきている。今後もさらに家庭と連携を取りながら、児童生徒の理解に努めていただきたい。</li> </ul>
	11	教職員は、児童生徒のよいところや気になることについて、電話や家庭訪問などで家庭と連絡を取り合っている。		3.25	3.42	3.51			
	12	教職員は、一人一人の児童生徒を大切に学級経営・いじめのない集団づくりを行っている。		3.35	3.30	3.62			
情報発信	13	学校は、各種便り(学校通信や学級通信など)にて、学校の取組等について情報発信している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校通信や学級通信などを定期的に発行したり、ホームページにおいて日々学校の取組等について情報発信したりすることができた。</li> <li>○ 児童生徒の作品を新聞に投稿したり、新聞やテレビなどに取材を依頼したりするなど、学校の取組を地域や保護者だけでなく、より多くの方々に知ってもらうことができた。</li> </ul>	3.76	3.76	3.81	3.70	4.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校便りやホームページ、新聞への投稿など、日々の情報発信が積極的にできていると思う。今後も上新田学園の取組をたくさんの方々に知ってもらいたい。</li> </ul>
	14	学校は、ホームページにて、学校の取組等について情報発信している。		3.70	3.64	3.85			
	15	学校は、新聞・テレビ等を通して、学校の取組や児童生徒の作品(作文や詩など)等について情報発信している。		3.73	3.59	3.48			
子ども	16	子どもは、楽しく学校に通っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 縦割り清掃や集会、毎月の生活目標「凡事徹底」など、小中一貫教育の活動に取り組む中で、学校の楽しさや異学年で協力し合う楽しさなどを味わうことができています。</li> <li>○ あいさつについては、放送や一斉下校指導の際に賞賛の場を多く設け、今後も「進んであいさつ」ができる児童生徒を育成していきたい。</li> </ul>	3.64	3.54	3.44	3.50	3.37	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「上新田の子どもたちのあいさつは、元気がよくてすばらしい」とよく言われる。思いやりやルールを守る態度なども、地域で声をかけながら見守っていきたい。</li> </ul>
	17	子どもは、思いやりや心やルールを守る態度、協調性などが育っている。		3.55	3.59	3.37			
	18	子どもは、あいさつや時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付いている。		3.42	3.47	3.55			
保護者	19	学校や学級「sigfy」から配信される文書などを読むようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「sigfy」の活用も2年目となり、地域や保護者の方々との連絡手段として理解を得ることができている。</li> <li>○ 地域や保護者の方々も、学級担任だけでなく関係職員にも気兼ねなく相談することができるような温かい雰囲気を醸成していきたい。また、コミュニティ・スクールとして地域に開かれた学校づくりを目指していきたい。</li> </ul>	3.79	3.66	3.57	/	/	
	20	子どもの様子について、気になるときは関係教職員に知らせている。		3.38	3.35				
	21	学校の様子について子どもと話をしている。		3.75	3.54				